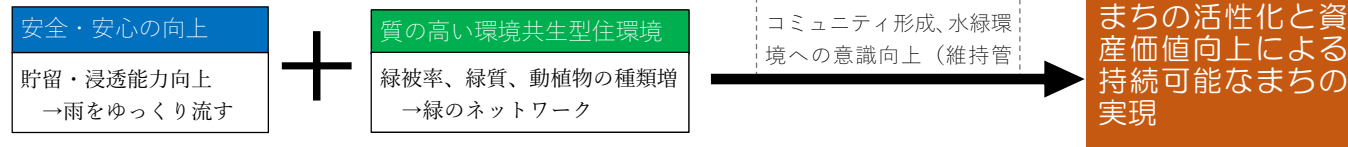


洋光台エリアにおけるグリーンインフラ活用の取組について

1 目的

グリーンインフラを活用した水・緑豊かな都市環境と安全・安心なまちづくりの推進



広いエリア（洋光台エリア）を対象として、公共施設のリニューアルなどに合わせて、浸透基盤材と植栽を組み合わせた多面的なグリーンインフラを導入することで、緑の拠点や大規模な公園緑地をネットワークとしてつなげるとともに、対象流域に対する流出抑制効果を発揮させ、水・緑豊かで安全安心なまちづくりを推進。

グリーンインフラとは…

自然が持つ多様な機能を賢く利用することで、持続可能な社会と経済の発展に寄与するインフラや土地利用計画をいう。（グリーンインフラ研究会）

2 水と緑の基本計画における位置づけと目標

(1) 位置づけ

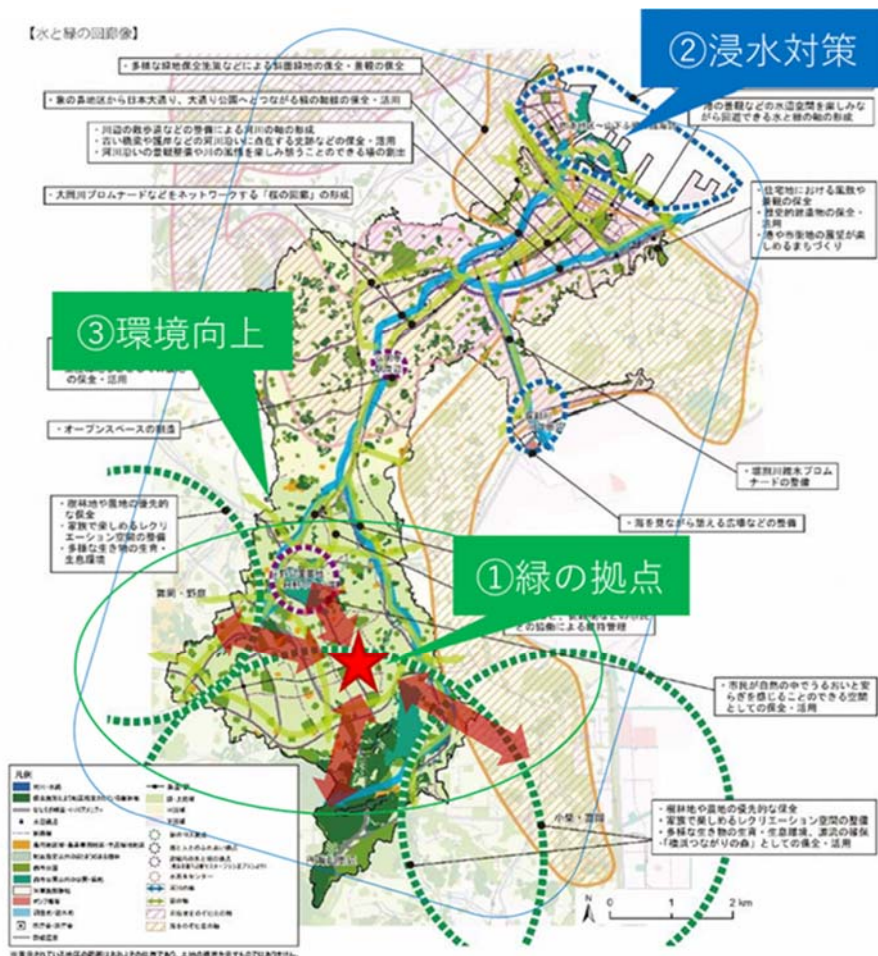
大岡川流域（約40km²）の源流・上流域～中流域に位置し、丘の上の樹林地と計画的に開発された街並みが特徴的なエリア。みどりの10大拠点を保全することによる雨水浸透域の確保や、生物多様性に配慮しつつ、自然とのふれあいの創出を進める。

(2) 目標

①みどりの10大拠点を、水と緑の拠点つなぐ、緑の拠点を創出

②上流部における保水・浸透機能の向上により、大岡川流域での良好な水循環と、都市部（桜木町エリア）まで流れる下流部の浸水対策に寄与

③駅を中心に開発された街づくりの中にありながら、水・緑環境の創出拠点として、周辺地域の環境を向上



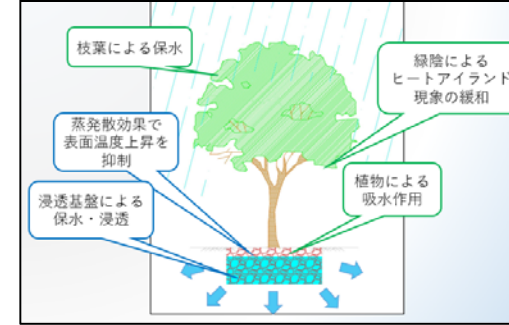
3 具体的な取組

(1) 洋光台エリアにおける公共施設（市営住宅、学校、道路、公園、その他公共施設）のリニューアルにあわせたグリーンインフラの導入

1) 市営洋光台住宅建替事業との連携

①環境創造局で外構部分のグリーンインフラ導入を支援
▶複合型グリーンインフラの積極導入

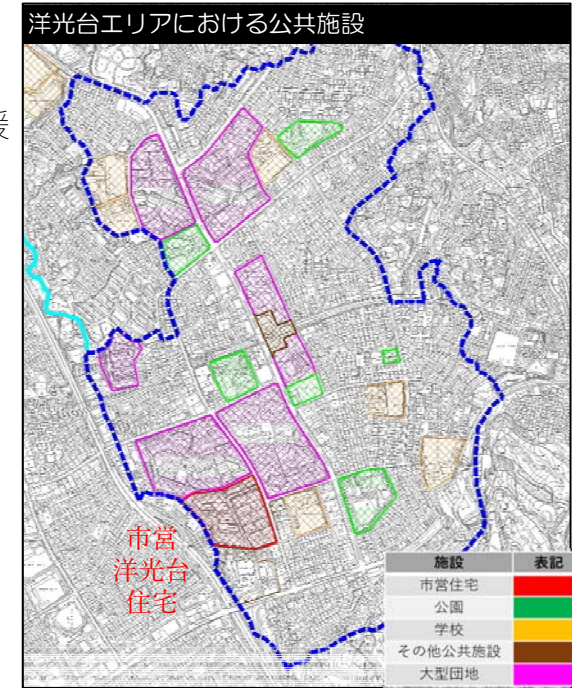
イメージ：複合型グリーンインフラ



レインガーデン（雨庭）



バイオスウェル



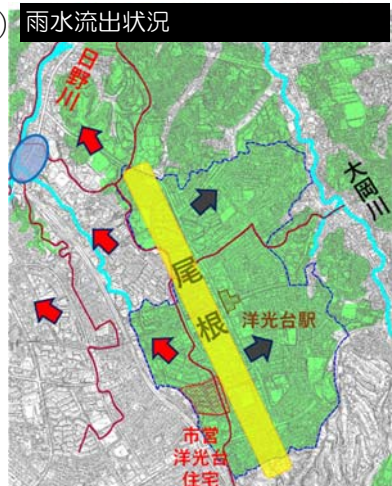
②グリーンインフラ導入による継続的な効果検証

雨水の流出抑制効果、ヒートアイランド軽減効果等（R5以降予定）

2) 他の公共施設との連携

当該エリア内の他の公共施設へのGI導入
▶今後は、学校との調整を開始予定

(2)周辺大型団地および、ルネサンスin洋光台とのコンセプトや方向性等について連携を目指す



4 スケジュール

